

下記の研究を行います

『医学生および初期研修医を対象とした、whole slide imaging (WSI) ライブラリーを用いた短期教育プログラムの構築、およびその有用性を検証する研究』

【研究の主宰機関】 四国こどもとおとなの医療センター

【研究代表者】 石井文彩

【研究の目的】 近年、病理診断分野においてもデジタル画像技術が進展し、WSI (Whole Slide Imaging) システムの実用化に発展した。

当院では小児科・産科を中心として多彩な疾患の精査加療を行っている。小児科・産科志望の医学生・研修医が、これらの疾患を短期間に系統的に経験できるプログラムがあれば、貴重な学習機会となる。一旦作製した病理プレパラートから whole slide imaging (WSI) のライブラリーを構築することで、標本の紛失や褪色、破損なく、かつ高額な顕微鏡を用いずに、既存のパソコンのスクリーン上で病理標本が閲覧可能となる。これは、デジタルパソロジーと呼ばれる、近年実用化された新たな病理標本観察の技術的方法論である。

WSI を活かした当院独自の病理短期教育プログラムを構築することで、より質の高い医療者の育成に貢献できるかどうかを検証する。

【研究の期間】 研究許可日～2022年3月31日

【研究の方法】 検体は、当院の生検材料・手術材料・剖検材料とし、匿名化する。

WSI を作製する前に、該当科の責任者に確認を取る。

症例は、希少例を中心とするが、典型例や類似疾患、鑑別疾患も適宜追加する。

本研究で使用する WSI システム (WSI スキャナー NanoZoomer S210 等) は、協力施設である徳島大学分子病理学分野の所有物を使用する。

作製した WSI は、浜松フォトニクス社のフリーソフト (NDP.view2) をダウンロードすることで、院内の新情報系端末パソコンから閲覧することが可能である。

対象者は医学生・初期研修医とする。

学習効果をみるために、教育プログラム前後に試験およびアンケートを行う。

●対象となる患者様

当院で体の組織を採取・提出された人

●利用する資料

既に作製済のプレパラート標本および臓器の肉眼写真

【研究の資金源】本研究は「四国こどもとおとなの医療センター研究助成金」により実施されます。

【利益相反】

臨床研究における利益相反(COI: Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かう適正な判断が歪められること、あるいは歪められていると疑われかねない事態」を指します。

本研究の利益相反は、当院の倫理審査で承認されています。

◎本研究に関する御質問等ございましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。

◎プレパラート標本や肉眼写真等の資料が当該研究に用いられることについて、患者様あるいは代理人の承諾が頂けない場合は、対象外としますので、下記連絡先までお申し出下さい。対象外となることで、患者様に不利益が生じることは一切ありません。

研究責任者 石井 文彩

四国こどもとおとなの医療センター 病理診断科
〒765-8507 香川県善通寺市仙遊町2丁目1-1
TEL(0877) 62-1000 (代表)

下記の研究を行います

『医学生および初期研修医を対象とした、whole slide imaging (WSI) ライブラリーを用いた短期教育プログラムの構築、およびその有用性を検証する研究』

【研究の主宰機関】 四国こどもとおとなの医療センター

【研究代表者】 石井文彩

【研究の目的】 近年、病理診断分野においてもデジタル画像技術が進展し、WSI (Whole Slide Imaging) システムの実用化に発展した。

当院では小児科・産科を中心として多彩な疾患の精査加療を行っている。小児科・産科志望の医学生・研修医が、これらの疾患を短期間に系統的に経験できるプログラムがあれば、貴重な学習機会となる。一旦作製した病理プレパラートから whole slide imaging (WSI) のライブラリーを構築することで、標本の紛失や褪色、破損なく、かつ高額な顕微鏡を用いずに、既存のパソコンのスクリーン上で病理標本が閲覧可能となる。これは、デジタルパソロジーと呼ばれる、近年実用化された新たな病理標本観察の技術的方法論である。

WSI を活かした当院独自の病理短期教育プログラムを構築することで、より質の高い医療者の育成に貢献できるかどうかを検証する。

【研究の期間】 研究許可日～2024年3月31日

【研究の方法】 検体は、当院の生検材料・手術材料・剖検材料とし、匿名化する。

WSI を作製する前に、該当科の責任者に確認を取る。

症例は、希少例を中心とするが、典型例や類似疾患、鑑別疾患も適宜追加する。

本研究で使用する WSI システム (WSI スキャナー NanoZoomer S210 等) は、協力施設である徳島大学分子病理学分野の所有物を使用する。

作製した WSI は、浜松フォトニクス社のフリーソフト (NDP.view2) をダウンロードすることで、院内の新情報系端末パソコンから閲覧することが可能である。

対象者は医学生・初期研修医とする。

学習効果をみるために、教育プログラム前後に試験およびアンケートを行う。

●対象となる患者様

当院で体の組織を採取・提出された人

●利用する資料

既に作製済のプレパラート標本および臓器の肉眼写真

【研究の資金源】本研究は「四国こどもとおとなの医療センター研究助成金」により実施されます。

【利益相反】

臨床研究における利益相反(COI: Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められること、あるいは歪められていると疑われかねない事態」を指します。

本研究の利益相反は、当院の倫理審査で承認されています。

◎本研究に関する御質問等ございましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。

◎プレパラート標本や肉眼写真等の資料が当該研究に用いられることについて、患者様あるいは代理人の承諾が頂けない場合は、対象外としますので、下記連絡先まで申し出下さい。対象外となることで、患者様に不利益が生じることは一切ありません。

研究責任者 石井 文彩

四国こどもとおとなの医療センター 病理診断科
〒765-8507 香川県善通寺市仙遊町2丁目1-1
TEL(0877) 62-1000 (代表)